



美咲野小学校
学校通信 第2号
令和2年6月5日発行
【文責 山本】

こう どう りょく
自分で考え **考 動 力** 自分で行動

令和2年度 学校教育目標
自他の良さを認め
自分で考え 行動できる
美咲野っ子の育成

「新しい生活様式」で再スタート

～ 学校再開を心から待ち望んでいました ～

熊本県における新型コロナウイルス感染状況のレベルが「感染未確認地域」に引き下げられ、いよいよ本格的に学校教育活動を再開しました。私たち職員一同、学校に子どもたちの笑顔や歓声が帰ってくることを心から待ち望んでいました。本校では、休業期間中も定期的に登校日を設け、子どもたちの心身両面における観察とケア、そして家庭学習の支援を行ってきました。当初は休み疲れなのか、登校日に元気のない表情を浮かべる子どもも見受けられましたが、登校日を重ねるにつれ、少しずつ学校生活のリズムを取り戻してきているようです。5月最後の登校日、ある子どもが「早くみんな(全員)と会いたいです!」と私に話してくれました。確かに、登校日は2グループに分かれての分散登校でしたので登校しても 全員と顔を合わせることがありませんでした。みんなで久しぶりに顔を合わせた学校再開の初日を、それぞれが様々な思いで迎えたことと思います。

さて、今回の学校再開は、もとの学校生活に戻ることを意味しているものではありません。あくまで、「新しい生活様式」での再スタートです。したがって、これからの生活は、全て「新しい生活様式」の上に成り立つということです。

- たとえば・・・◆人との間隔は、最低1m（ソーシャルディスタンス）
3密（密閉・密集・密接）を避け、定期的に部屋の換気。
◆人との会話は、お互いにマスクの着用がエチケット
◆こまめに手洗い・消毒・顔洗い など

学校再開の初日の1時間目、全校一斉に美咲野小独自の「新しい生活様式」を学習しました。掃除のしかたや図書室の利用のしかたなどを、本校オリジナル動画を使って確認しました。この約束を守ることが、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐことにつながり、自分の命とともに大切な人の命を守ることになるのです。

今回、美咲野小学校「あたらしいせいかつ」を作成しました。ご家庭にも配布しますのでご確認ください。



これから一日一日を大切に

～ 出来ることを工夫して 創造的に・・・～

いよいよ学校が再開しましたが、長期にわたる休業期間中、子どもたちにとっても、また、保護者の皆様にとっても不安と負担を感じながらの日々であったと思います。今後も、先が見通せない状況の中にはありますが、学校再開を機に、出来ないことを嘆くだけではなく、様々な不安や課題を一つ一つ解決しながら、出来ることを工夫して創造的に、一日一日を大切にされた教育活動を展開して参ります。どうぞよろしくお祈りします。以下に、再開にあたっての方針や対策の一部をお知らせします。



下校も分散・・・ソーシャルディスタンス

【健康面】

- ◎引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止体制は継続します。健康観察表をもとに、入念な健康観察を実施します。家庭でも健康観察(検温)のご協力をお願いします。



【学習面】

- ◎臨時休業のため学習できなかった内容を含め、改めて指導計画を練り直しながら確実に学習を進めて参ります。ただし、遅れを取り戻すための詰め込み式の授業や過重な学習課題(宿題)の提示等はいりません。
※夏季休業日を8月8日～23日までの16日間に短縮し、授業時数を確保します。
- ◎「eライブラリ アドバンス」学習サポートサービスを大津町全小中学校で導入しました。今後、インターネットを活用した家庭学習支援の充実を図ります。

【生活面】

- ◎これまで経験したことのない長期の休業期間で、子どもの不規則な生活リズムの定着が懸念されます。また、「新しい生活様式」に慣れることも必要です。6月前半は、段階的に日課を工夫しながら、みんながスムーズに学校生活に復帰できるように配慮します。
- ◎6月1日(月)～12日(金)の放課後に、全校児童を対象にした「個人面談(お話しタイム)」を実施し、心のケアに努めています。
- ※6月1日からバスケット(連絡アプリ)を導入し、双方向の連絡体制の充実を図りました。欠席連絡や学校からの連絡等に幅広く活用していきます

